

平成26年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:ベーシック

主担当:研究主幹 近藤 伸也

		6月3日(火)	6月4日(水)	6月5日(木)	6月6日(金)
09時30分～10時45分	1限		災害過程論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 ・災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する	災害をもたらす自然現象の理解(地震・津波) 清野 純史 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学地球環境学堂 教授) ・地震発生のメカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える	リスクコミュニケーション概論 吉川 肇子 慶応義塾大学商学部 教授 ・人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を理解する
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 近藤 伸也 人と防災未来センター研究主幹	災害をもたらす自然現象の理解(風水害) 川池 健司 京都大学防災研究所 准教授 ・風水害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える	我が国における災害対応の動向 城 麻実 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災計画担当)付参事官補佐 ・東日本大震災の経験を踏まえて、最新の国の災害対応体制について理解する	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 関西大学社会安全学部 准教授 ・災害対応にあたって使える権限・財源を理解する ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する
13時15分～14時30分	3限	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 近藤 伸也 人と防災未来センター研究主幹	危機管理総論 永松 伸吾 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学社会安全学部 准教授) ・危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センター災害対策専門研修 DisasterManager (芦屋市企画都市市長室長) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する	民間企業の災害対応 水島 重光 日本生活協同組合連合会 B・C・P対策室 特別契約(減災塾塾長) ・災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について理解する
14時45分～16時00分	4限	・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする	防災・減災カフェ 「大規模災害における行政の対応の実態」  〔震災当時の行政関係者〕 畑 文隆 西宮市開発指導課長 (元南三陸町復興事業推進課出向)	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター上級研究員 (兵庫県立大学・特任教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ	全体討論会 近藤 伸也 人と防災未来センター研究主幹 等 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ
16時15分～17時30分	5限	災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋大学減災連携研究センター長・教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をおとして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える	大矢 幹雄 NPO法人防災サポートおぢや (元小千谷市災害対策本部総務部副部長)		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成26年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 渡邊 敬逸

	6月10日(火)	6月11日(水)	6月12日(木)	6月13日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	災害対応概論(応急期) 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹(株)日通総合研究所取締役(教育コンサルティング部担当 兼 教育コンサルティング部長) ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 渡邊 敬逸 人と防災未来センター研究員	災害と男女共同参画 池田 恵子 静岡大学教育学部教授 ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学防災教育センター 准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 倉島 賢治 新潟県 県民生活・環境部廃棄物対策課 副参事(元 危機管理防災課 主任) ・災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める
13時15分～14時30分	3限 災害対応概論(初動期) 近藤 伸也 人と防災未来センター研究主幹 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 人と防災未来センター上級研究員(済生会千里病院千里救命救急センター) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 人と防災未来センター上級研究員(明治大学 大学院政治経済学研究所 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	自治体における災害対応の実際 宮脇 寛和 田辺市総務部防災対策課課長 久保 正彦 佐用町企画防災課課長 渡邊 敬逸 人と防災未来センター研究員 ・パネルディスカッションや演習を通じて実際の災害対応における課題について学ぶ
14時45分～16時00分	4限 市民社会ワークショップ 立木 茂雄 人と防災未来センター客員研究員(同志社大学社会学部 教授)	災害対応演習(クマ演習) 渡邊 敬逸 人と防災未来センター研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センターリサーチフェロー(名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	災害事例 WS 渡邊 敬逸 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 山本 康史 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	災害をもたらず自然現象の理解(津波) 奥村 与志弘 人と防災未来センターリサーチフェロー(京都大学大学院 地球環境学 資源循環学 廊下地震災害リスク論分野/工学研究科都市社会工学専攻 地震ライフライン工学講座(兼務)助教) ・津波の発生メカニズムとそれによる物理的・社会的被害、今後の災害に備えた被害想定について学ぶ	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 安富 信 人と防災未来センターリサーチフェロー(神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授) 川西 勝 人と防災未来センターリサーチフェロー(読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成26年度春期 災害対策専門研修 マネジメントコース:エキスパートB		主担当:主任研究員 古本 尚樹		
6月17日(火)		6月18日(水)	6月19日(木)	6月20日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所教授	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸大学 社会科学系教育研究府特命准教授) ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員	元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	災害による交通渋滞について 中川 大 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学大学院工学研究科 教授/交通政策研究ユニット長) ・災害時の交通現象とその問題点およびそれを踏まえた対応方策
13時15分～14時30分	3限 災害情報の受発信手法 近藤 誠司 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学社会安全学部助教) ・被害情報の受信(収集)と発信(広報)およびこれらを総合した情報共有のあり方について学ぶ	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	災害時の健康危機管理 金谷 泰宏 国立保健医療科学院健康危機管理研究部部長 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	被害認定業務 田中 聡 常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について
14時45分～16時00分	4限 標準的な災害対応システム論 林 春男 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	災害対応事例:東日本大震災時の政府現地対策本部(14:45-15:30) 森 毅彦 総務省総合通信基盤局電波部 基幹通信課長 (元内閣府防災担当企画官) ・東日本大震災における現地での災害対応経験を紹介し、災害対応のあり方について考える	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員・震災資料研究主幹(京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	災害事例 WS 古本尚樹 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	災害対応各論(NGO/NPO)(15:40-17:30) 森 毅彦 総務省総合通信基盤局電波部 基幹通信課長 (元内閣府防災担当企画官) 明城 徹也 ジャパン・プラットフォーム国内事業部長/東北事務所長 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	